



主日礼拝式プログラム 8:45~10:15am

賛美

「愛する我が主よ」聖歌601

「私たちは一つ」

「神はひとり子を」聖歌392

「あめめぐみ」聖歌593

献金

牧会祈禱

主の祈り

聖書朗読 マタイ11章2節～6節 南部郁

メッセージ

「受難節 待ち望む十字架」 関真士牧師

賛美「あなたがすべて」

頌栄 祝禱

会堂礼拝とオンライン礼拝が、主の御霊によって

一つとされ共に主を礼拝いたしましょう

お知らせ

- 今年の受難節は、2月22日(水)から始まります。

『黙想の手引き』が配布されています。ウェブページからも見ることができます。

紙の冊子が必要な方は、礼拝受付でお受け取りください。郵送を希望の方は、お知らせください。

今年のテーマは「4つの十字架」です。

- 今日から受難節のメッセージシリーズが始まります。
- 風邪が流行っています。フルー、コロナなどが疑われる場合には、ステイホームで礼拝しましょう。
- 執事会は次週26日に持たれます。

風の吹くままに



▼今、アズベリー神学校でリバイバルが起こっています。CNNをはじめ一般のメディアでも報道されています。

リバイバルとは、キリスト教用語の一つですが、その意味は、「聖霊の特別な働きにより、深い悔い改めを伴う霊的覚醒、さらに爆発的な救いが起こる現象」です。

リバイバルが起こると、案内もなし、プログラムもなし、計画もなし、ただ聖霊の働かれるままに導かれ、毎日、常に、礼拝が捧げられ、不思議と人々が吸い寄せられるように集まり、どんどん人が救われていきます。教会の前の通りを歩いている人、バスの運転手さんが、なぜか教会に来て救われたりするのです。そしてしばしば、病の癒し、心の病からの解放、奇跡的な問題解決など、目に見える御業が顕著に現れます。

教会の歴史はリバイバルの歴史でもあります。私たちの属する北米ホーリネス教団もリバイバルの中で誕生し、ホノルル教会は、そのリバイバルの火の飛び火によって誕生しました。

リバイバルは、人為的に起こせるものでもなく、ただただ聖霊の働きによります。大切なのは、いつリバイバルが起こっても良いように備えることです。新しい皮袋として、整えていただきましょう。

関真士牧師



Sekishinji89@gmail.com

献金



2022年度聖句

あなたがたは、主にあつていつも喜びなさい。

繰り返して言うが、喜びなさい。

週報

イエスにこう言い送った。「おいでになるはずの方はあなたですか。それとも、別の方を待つべきでしょうか。」

イエスは彼らに答えられた。「あなたがたは行って、自分たちが見たり聞いたりしていることをヨハネに伝えなさい。目の見えない者たちが見、足の不自由な者たちが歩き、ツアラアトに冒された者たちがきよめられ、耳の聞こえない者たちが聞き、死人たちが生き返り、貧しい者たちに福音が伝えられています。だれでも、わたしにつまずかない者は幸いです。」

スモールグループの心得

心を傾けて聴こう、理解しよう、共感しよう。教えない、否定しない、批判しない。そのままを受け入れましょう。



分かち合いのポイント

①信仰のあり方には「探し求める」と、「待つ」ことの両方があります。あなたは「待つ」ことが出来る人ですか。

②人間は、誰かを待っています。でも誰を待っているのか分からないで待っている事があります。『ゴドーを待ちながら』の話を聞いて、どう思いましたか。

③私たちが待ち望むのは、真の救い主です。真の救い主とは、十字架にかかったイエス・キリストです。受難節の始まりを意識して、この十字架を待ち望むことについて考えてみましょう。

マタイの福音書 11章 2～6節

さて、牢獄でキリストのみわざについて聞いたヨハネは、自分の弟子たちを通じて



ホノルル キリスト教会

2207 OAHU AVENUE, HONOLULU, HI 96822

日本語部 事務所 ☎ (808) 973-4335

Email : office@honoluluchristian.church



賛美の御言葉 詩篇 117篇 1～2節

すべての国々よ主をほめたたえよ。すべての国民よ主をほめ歌え。主の恵みは、私たちに大きい。主のまことは、とこしえまで。ハレルヤ。

ホノルルキリスト教会 2023年2月19日